

2024年

あつま

社協だより



冬号

発行者：社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会
 〒059-1601 勇払郡厚真町京町 158 番地
 TEL (0145)26-7501/FAX(0145)26-7655

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

年頭のご挨拶

厚真町社会福祉協議会 会長 大橋 正治

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい令和6年の初春をご家族お揃いでお迎えることとお慶び申し上げます。平素より社会福祉協議会の事業や活動に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。



本年もよろしく お願い申し上げます

会 長 大 橋 正 治
副 会 長 高 橋 康 夫
" 池 田 シゲ子
理 事 伊 東 悦 子
" 遠 藤 久 代
" 北 島 美 保
" 窪 田 久 雄
" 玉 木 秀 幸
" 中 川 登
" 橋 場 直 人
" 山 路 秀 丘
" 吉 井 稔 樹
" 吉 岡 茂 樹
監 事 前 田 正 行
" 兵 頭 利 彦
事務局 長 山野下 誠
ほか、職員一同

世界的な猛威となった新型コロナウイルス感染症が昨年に5類へと移行したことで、社会生活や経済活動が平時の状態へと回復しつつありますが、コロナ禍の影響はいまだに残されているとともに、物価上昇や厳しい雇用環境は社会的弱者の方々の生活に大きな不安を及ぼしています。さらに地域では少子高齢化や過疎化の進行により、買い物や移動交通などが生活課題とされています。

また北海道胆振東部地震から5年が経過し引き続き地域の復興・回復を図るとともに、社会の変化に対応した持続可能で安心安全に暮らせる次世代に向けた地域づくりが求められています。

そのような中で厚真町社会福祉協議会は、地域社会における民間福祉活動の中核として、地域の住民、関係機関、民間の様々な団体の皆様とともに、地域のニーズにこたえていくことが大きな使命であると考えております。

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目標に、厚真町社会福祉協議会役員一丸となって取り組んで参る所存でございますので、本年も町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全国社会福祉協議会会長表彰を受賞 優良社協に厚真町社会福祉協議会

令和5年11月15日（水）に東京都で開催された令和5年度全国社会福祉大会において、厚真町社会福祉協議会が優良社会福祉協議会として全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。

厚真町社会福祉協議会は終戦後の昭和27年に厚真村社会福祉協議会として発足。昭和53年には法人格を取得し共同募金運動など地域福祉の推進や、ホームヘルパーの前身となった老人家庭奉仕員配置など在宅福祉の推進にも取り組んできました。

受賞のきっかけとなったのは、平成30年北海道胆振東部地震における災害ボランティアセンターや、被災者支援に携わった生活支援相談員（LSA）における地域や関係者と連携した取り組みが、地域福祉づくりにおける社会福祉協議会の活動に繋がるものとして関係者から高く評価いただいたものです。今回の受賞については、長年にわたり社会福祉協議会の活動を支えてきた地域住民や福祉関係者のおかげと存じ役員一同心から感謝を申し上げます。



地域づくり講演会

を開催しました！！

社会福祉協議会では、12月8日（金）に苫小牧市社会福祉協議会の千寺丸様を講師として地域づくり講演会を開催いたしました。

講師の千寺丸様から「ひとりひとりの笑顔のために」というテーマのもと、苫小牧市での取り組みや住民同士の支え合いの大切さについてお話がありました。

当日は、当初予定していた参加人数より多くの方が参加してくださり、また、参加者の方々からも「とても貴重なお話を聞かせていただきました」とご感想をたくさんいただきました。

遅くまでご参加してくださいました参加者の皆様、大変ありがとうございました。



もち米贈呈12/11

年末年始の行事にお使いいただけるよう、町内福祉施設である（福）北海道厚真福祉会、NPO法人ゆうあいネットあつま、ともいきの里へそれぞれもち米をお届けしました。

おせち料理贈呈12/29

今年は111名の町民の方へおせち料理を贈呈しました。

寒い中、民生委員の皆様にご協力をいただき届けられたおせちを、皆さんはお礼の言葉とともに笑顔で受け取られていました。

「ボランティアばんざい inいぶり」開催!! (10月5日)



胆振ボランティア連絡協議会、北海道社会福祉協議会が主催する本事業が4年ぶりに実施されました。この事業は、地域の力を高めるボランティア活動の必要性を再認識するとともに、共生社会実現に向け、人と人とが共に支え合うことの大切さを学ぶものです。

今年度は厚真町が開催地となり、会場には厚真町を含め胆振管内全域より約160名が来場されました。開会後は、一般社団法人ウェルビーデザイン 理事長 篠原辰二氏の基調講演、実践発表として登別市・室蘭市の協同で施設利用者さんに向けたリモートマンドリン演奏、そして厚真町からは、ふまねっと・かめの会さんが、ふまねっと運動教室の活動主旨や活動内容について発表されました。



厚真町

ボランティアセンターより

今号では、地域住民へのボランティア活動の様子についてご紹介します！

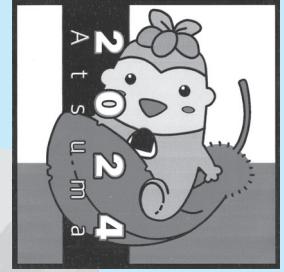
写真は、物置き（ビニールハウス）のビニールシート張替え作業の様子です。地域貢献活動として、地域おこし協力隊の皆様にご協力いただきました。劣化したビニールシートを取り外し、骨組みの補修等を経てからビニールを取り付ける技術を要する作業でした。

完成後は、想像以上の出来栄えに、依頼された方も大変喜ばれていました。協力隊の皆様には、社協職員一同、心よりお礼申し上げます。



感謝

赤い羽根共同募金ご当地バッジ 最優秀デザイン決まる！



厚真町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金の募金資材として作成するご当地限定ピンバッジのデザインを公募し、33点の応募作品の中から最優秀賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点を選びました。

最優秀賞に選ばれたのは深澤莉々奈さん（厚真中学校1年）の作品です。サーフボードに見立てた赤い羽根に厚真町が支えられるという意味でデザインされた作品です。また、優秀賞に三宅柚巴さん（町内）奨励



賞に西村勇太さん（芦別市）の作品が選ばれ、審査にあたった審査員からは「力作揃いで選ぶのにとっても迷った」との講評をいただきました。

応募作品33点の中には子どもたちの応募も多く、「厚真町」や「募金の意味」などについて考えていただいたことが伝わる作品が寄せられました。

最優秀賞に選ばれた作品は令和6年度のご当地限定バッジのデザインとして採用され、作者と打ち合わせをしながらバッジとしてのデザインを調整した上で、製作が進められることとなります。

ご応募ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

《三宅柚巴さん》



優秀賞作品

《西村勇太さん》



奨励賞作品

歳末チャリティ ～演芸大会～ 4年ぶり年末の風物詩

令和5年12月1日、厚真町総合福祉センターで厚真町婦人団体協議会主催による第43回歳末チャリティ演芸大会が開催されました。演芸大会には地域の団体や職場有志のグループなど23組が参加し多くの来場者を楽しませました。



昭和52年の第1回から続く長い歴史を持つチャリティ演芸大会は、



歳末たすけあい運動が始まる毎年12月1日に開催されてきました。北海道胆振東部地震により平成30年は開催中止となり、また新型コロナウイルス感染拡大の影響のため令和元年以来4年ぶりの開催となりました。

厚真町婦人団体協議会では歳末たすけあいの協力を募るため、役員の皆様が一口300円の入場券付きの募金券を町内の団体や職場などを一件ずつ回って配布されています。今年は益金として今年は165,000円もの義援金をお寄せいただきました。昭和52年からの募金総額は合計で約700万円にも上ります。

町の風物詩として親しまれている歳末の演芸大会は多くの町民と関係者の力で続いています。



令和6年度小地域ネットワーク活動「たすけあいチーム」 助成金の申請受付が始まります！

「たすけあいチーム」とは、自治会を基盤とした、住民の参加と協力により、同じ地域の中で援護が必要な方々の生活を見守り、支え合っていく活動です。

活動内容の例

高齢者世帯や障がい者等のいる世帯に対して…

①見守り・声掛け・訪問活動 ②除排雪活動 ③掃除や洗濯 ④通院や買い物、各種交流会などへの送迎 ⑤その他（自力では困難な立木の除伐処分、草取り、郵便物の投函、ごみの分別・ごみ捨てなどを行っている地域もあります）

令和5年度の「たすけあいチーム」

令和5年度の「たすけあいチーム」は17自治会ありました。

活動された自治会は、朝日、宇隆、表町団地、軽舞、北町、共栄、共和、鹿沼、高丘、東和、富里、富野、豊丘、豊川、豊沢、幌内、美里自治会の皆様でした。（五十音順）

活動にご協力いただき、自治会の皆様には感謝申し上げます。

令和6年度の申請について

受付期間 令和6年2月～令和6年3月15日まで

申請対象 町内の自治会

申請方法 申請書を持参又は郵送にて社協までご提出ください。

助成金支給 令和6年5月中旬頃の予定

活動期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

※ 申請書は、各自治会長様宛に郵送します。

社会福祉協議会では、「たすけあいチーム」づくりを推進しております。

いま、活動してくださっている自治会様はもとより「これから始めたい」「申請はしていないけど、ご近所づきあいで活動している」という自治会様や隣近所の方もいらっしゃるかと思います。「たすけあいチーム」は、そういう活動をサポートする助成の仕組みです。「たすけあいチーム」活動に申請をいただき「たすけあう地域社会」をつくるために、どうか皆様のお力添えをお願い申し上げます。

お問い合わせ：福祉担当 0145-26-7501

いきいき サポートサロン

文化祭展示

11月3日～4日、厚真町文化祭実行委員会主催による文化祭に、いきいき利用者の

作品を町総合福祉センター大集会室のブースに展示しました。

花札の絵柄の貼り絵作品は、各曜日の利用者がコツコツと協力しながら仕上げたもので、作業期間は約3ヵ月にも及ぶ力作となりました。今回は貼り絵の他にも、以前作成した陶芸作品を展示し、来場した観客の目を和ませ感動を誘い込んでいました。



日帰りバス旅行 in新冠

11月21日、いきいき利用者と社協役職員総勢35名が、日帰りの町外支援行事で新冠町に行きました。

当日は天候にも恵まれ、昼食会場の新冠温泉ホテルヒルズでは季節の旬の物を皆で味わい、帰りに寄った道の駅の売店では、地域の方々との交流の中、楽しんでお土産を買っていました。

また、普段は曜日の違いで会えない方々と久々に会うことができ、バスの中では会話が弾み皆さん笑顔で帰ってきました。



**胆振身体障害者福祉協会
厚真支部**

11月7日（火）に胆振身体障害者福祉協会の胆振東部3町支部研修交流会がむかわ町で開催されました。同時にその席上において、胆振身体障害者福祉協会会長表彰式も行われ、身体障害者福祉への功績を讃え援護功労表彰を2名の会員の方が受賞されました。（以下、敬称略）

胆振身体障害者福祉協会会長 援護功労表彰
・中川 登 ・近藤 光子

厚真町遺族会

11月7日（火）令和5年度胆振地区連合遺族会研修会が洞爺湖町で開催され、加勢敏和会長と山口清光副会長が出席しました。その席上にて行われた表彰式で、遺族会への長年の功績を讃え、3名の厚真町遺族会会員の方が表彰されました。（以下、敬称略）

胆振地区連合遺族会会長表彰
・上村 正夫 ・山口 清光
北海道連合遺族会理事長表彰
・沼田 一洋

**厚真町
老人クラブ連合会**

厚真町文化祭出展

羊毛クラフト・パッチワーク・編み物
・その他、会の皆様の個性あふれる多様な創作品を出展しました。展示品一つ一つ、どれをとっても非常に繊細で手の込んだ仕上がりとなっていました。



リーダー研修会

11月9日（木）洞爺観光ホテルにて1泊2日で実施されました。今年は(株)meijiによる「チョコレートの歴史と健康」作業療法士による「健康長寿の秘訣」について学びました。



掲示板

令和6年能登半島地震災害義援金の受付窓口について

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による被災者支援を目的に、義援金を受け付けています。

◆募集期間 令和6年1月5日（金）～令和6年6月28日（金）

◆取扱い窓口

厚真町共同募金委員会 < 厚真町京町158番地 児童会館（社会福祉協議会） >

電話：0145-26-7501



厚真町給食 サービス

夕食を週3回～6回の間で、ご自宅までお届けします。

専属の管理栄養士が考えた、季節の食材を使ったメニューをご用意。工場で当日に調理したものを冷蔵でご自宅までお届けします。

メニュー

- ・松デラックス弁当 ¥650
- ・竹バランス弁当 ¥500
- ・梅（低カロリー）弁当 ¥450

厚真町に在住する70歳以上の一人暮らし又は70歳以上の高齢世帯で身体的又は精神的な事情により自ら食事の支度を行うことが困難な方で下記に該当する方が対象

- ・要支援又は要介護の認定を受けている方
- ・厚真町又は居宅介護支援事業所等から給食サービスの必要があると認められた方
- ・70歳未満でも上記に該当する方

*委託先：コープさっぽろ配食サービス

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

生活就労サポートセンターいぶり

【住まい】【仕事】【生活費】
などの困難を抱えている方に
総合的な支援を行います。

【住宅確保給付金】

再就職のための住居の確保が必要な方、収入が減り家賃が払えない方の支援を行います。

【就労支援】

早期就労が見込まれる方に対して、自治体とハローワークによる一体的な支援を行います。

【家計改善支援】

家計管理、滞納の解消や各種給付制度の利用、債務整理に関する支援などを行います。

お問い合わせ先 サポートセンターいぶり
0120-09-0783

新入学児童のご家庭へお祝い金贈呈のご案内

社会福祉協議会では、4月から町内の小学校に新入学されるお子さんがいる世帯へお祝い金を贈呈します。お祝い金の受給には基準があり、事前の申請が必要です。下記の要件をご確認の上、申請してください。

- ☆お祝い金額☆ 新入学児童1人につき 2万円
- ☆対象世帯☆ 町内の小学校の新入学児童がいる世帯
- ☆所得基準☆
 - ・2人世帯～240万円まで
 - ・3人世帯～300万円まで
 - ・4人世帯～360万円まで
 - ・5人世帯～420万円まで
 - ・以下、1人増えるごとに60万円を加算

※生活保護費受給世帯は対象となりません

★申請時に必要なもの★

- ・申込書、同意書（書類は窓口にあります）
- ・世帯の収入を確認できるもの（令和5年の給与所得の源泉徴収票の写しなど）
- ・印鑑 ・通帳（振込先口座の確認）

★受付期間★

令和6年2月1日（木）～2月29日（木）

★お問い合わせ先★

0145-26-7501（社協）

「いつまでも、住み慣れた地域で暮らしたい」を支援します

厚真町社会福祉協議会では高齢や知的な障がい等のために、日常の判断が不安になった方に対して、できるだけ地域で生活が送ることができるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理などのお手伝いする「日常生活自立支援事業」や、厚真町社会福祉協議会が法人として成年後見人等になって、その方の判断能力を補い、安心して日常生活ができるよう支援する「法人後見」事業を行っています。

■日常生活自立支援事業

厚真町社会福祉協議会との利用契約に基づき、福祉サービスの利用支援や生活に必要な金銭の管理、大切な書類などの預かりなどを実施します。

■法人後見事業（成年後見事業）

ご利用にはご本人やご親族などが家庭裁判所へ法定後見開始の審判の申立てを行い、家庭裁判所から厚真町社会福祉協議会が成年後見人等に選任される必要があります。

お問い合わせ：

厚真町社会福祉協議会総務係／厚真町地域包括支援センター／厚真町基幹相談支援センター
電話0145-26-7501（社協）

寄付資金

今野 二三男 様（富野）
菊池 修治 様（豊丘）
大垣 俊昭 様（豊沢）
ほっ。と茶ろん 様
（幌内・富里・高丘・東和自治会）
石井 勉 様（富里）
佐藤 忠美 様（表町）
生け花愛好者
矢倉 文子 様（上厚真）
厚真アマチュア
無線クラブ 様（豊川）
松井 満男 様（本町）
匿名 3件

物品委託

北海道コカ・コーポリング(株)
エリアマーケティング本部道南営業部様（苫小牧）
・・・飲料水
厚真ライオンズクラブ様
・・・タオル
匿名 1件



厚真ライオンズクラブ様

あたたかい善意に
感謝いたします

合計 565,617円（12件）
（令和5年10月1日～12月30日）

ご芳名はご本人から了解をいただいた方のみ掲載しています。

ふれあいサロン カレンダー

R6.2月

6日 あれこれサロン
15日 ほほえみサロン憩
19日 ほっ。と茶ろん
29日 ひだまりサロン

R6.3月

5日 あれこれサロン
13日 ほっ。と茶ろん
18日 ほほえみサロン憩
22日 ひだまりサロン



厚真町社会福祉協議会公式ホームページ
<https://atsuma-shakyo.or.jp>



今号の表紙 令和6年度ピンバッジデザイン応募作品一覧

